

あしたか ニュース

No. 200 / 2015年
8月



編集
発行



愛鷹地区コミュニティ推進委員会
TEL・FAX 966-5301 (愛鷹地区センター)



春風火舞と周りを何重にも取り囲む観客たち
～あしたか納涼まつり～

目次

- あしたか地域情報…………… P 2
- ふれあい…………… P 3
- 納涼まつり…………… P 4～5
- あしたかSPORTS…………… P 6
- ご存知でしたか わが街 松見台… P 7
婦人会奉仕活動
掲示板
- 愛鷹小学校運動会…………… P 8
五年生が苗取りと田植え



柳沢サロン活動「こて絵教室」の作品 (2ページに記事)

あしたか 地域情報



今にも泣きだしそうな梅雨空の七月四日(土)に「七夕の会」が行われました。

これはネットワークおおくぼの発足当初から続けてきた催しで、七夕飾りを作った後、流しそうめんをいただいていきます。町内のすべての人を対象として、町内各家庭に事前に短冊が配られ、願いを書いて公園に持ち寄り笹に結び付けます。



子ども達は集会所の広いテーブルで、色とりどりのペンで短冊に思い思いの願いを書き、はさみや糊を使ってお年寄りと一緒に作った飾りも笹に付けました。

台所では、女性部が大量のそうめんを茹でて薬味や汁を用意し、公園ではそうめんを流す竹樋が二列作られて、水の勢いの調整など準備が整



いました。待ちきれない様子の子どもが早くも席取り。



流しそうめんが流れ始めると、竹の両側で争奪戦。器いっぱいにしていない子、溢れる水に靴を濡らす子。下流になかなか流れてこないで、途中からも投入！下流にいた子も

満足そうでした。時々、プチトマトやさくらんぼ、お菓子が流れると大歓声！パラエティに富んだ流しものを楽しんでいました。

元気な子ども達のお腹がいっぱいになった後は、大人がゆつくりとそうめんを味わっていました。



流しそうめんには少し涼しい天候でしたが、子どもからお年寄りまで、町内の絆を深めた楽しい一日となりました。

役目を終えた竹は、今年も「のぞみの里」に引き取られて、里の流しそうめん活躍することになりました。

(田嶋・石井)



四月十二日(日)柳沢公会堂にて、柳沢在住の左官業の増田さんを講師にごて絵教室が開催されました。

「こて絵」なじみのない言葉ですが、なまこ壁の材料でもある漆喰を絵の具で色付けし、それを使って描く絵のことで、ところどころ色を重ねて微妙な色合いや厚みを出すことで特有の風合いができます。

今回は初心者向けに型紙を使ったステンシルのような方法で行いました。花や動物、人気のキャラクターなどいろいろな型紙があり、大人から子どもまで楽しめそうでした。

参加者は、皆初めての経験で要領がつかめないうまくと作業をしていきました。仕上がりの想像がつかないので、型紙を外す時が一番ドキドキしました。

出来上がった作品は、幾重にも色付けしたため厚みがあり、その断面がとても美しいと思いました。同じ型紙を使っても作り手によって仕上がりに個性が出て、お互いの作品を見ながら楽しい会話が弾みました。

(杉浦)

沼津チャリティランに

愛鷹連合自治会チーム参加

障がい者支援を目的に今年から始まった沼津チャリティランは、1.5km×5人のリレーで、申告タイムと実走タイムの差を競う、誰でも参加できるよう工夫されたイベントです。ニューウエルサンピア沼津内の会場には、53チームの選手たちと応援、サポートをする人たちが集まりました。

実行委員長のチャックウィルソンさんのピストルで一斉スタート。会社名のゼッケンを着け本気で走る若者、視線を落として一心に歩を進めるお年寄り、大きな声援を受けながらサポーターと手を繋いで走る方など、様々な方が一つのレースに参加する光景は、目新しく和やかなものでした。



愛鷹連合自治会チームは、西椎路自治会会員の藤池・久保田・水本・吉崎・辻村の5名。全員が余裕の走り(申告より4分も早く)ゴールしました。完走の認定証を受け取り、チャックさんと記念写真。皆さんさわやかな達成感を感じているようでした。(小野)

支え合う人と人 地域で育む思いやりの心・福祉の心

No. **52**

2015年(平成27年)

8月15日 発行

愛鷹地区
社協だより

ふれあい

♡ みんなで支えあう地域づくり♡

皆が安心して暮らし続けられるまちづくりを目指して

「災害時避難行動 要支援者名簿」の活用

高齢化で夫婦のみや独居の高齢者の増加の反面、少子化で担い手の減少が今後も続いて、このままでは将来の介護や医療などの福祉制度の維持に困難が予想されています。

その為、高齢になっても住み慣れたところに住み続けられるような支えあう地域がこれからはより必要になっていきます。

私たちは愛鷹地区がそのような地域になるよう、今後も活動してまいります。

災害発生時だけでなく避難指示が出た時にも、支援が必要な人たち(災害時避難行動要支援者)への迅速かつ的確な支援ができるように、自治会単位で要支援者名簿の作成を提案しています。

平時の避難訓練や見守りにも活用します。自治会ごと災害対応マニュアル整備と共に活かして載けるようお願いいたします。

☆ボランティアやってみませんか☆

ボランティアに興味があるけど、出来ることあるかな? 思いやりやいたわりの気持ちを生かし、身近な事に目を向け、無理せず出来ることから始めてみましょう。

また、ボランティア活動による自己研さんや仲間づくりを通して、普段のくらしがより幸せに充実したものになってゆくことにもなると思います。

こんなボランティアもあります。

- ・子育て支援「びよびよ・エンゼルサロン」のサポート
- ・高齢者サロン活動「ふれあい談話室」のサポート
- ・自治会内小地域福祉サロン活動の運営サポート
- ・区内多数の福祉施設でのいろいろなボランティア
- ・「受付ボランティア」

いろいろな福祉相談に乗るボランティアです。

ボランティアについての相談も声を掛けてください。

地区センター旧館の地区社協事務所

TEL 0568-62222 (毎日曜日のみ、FAXは終日可)

被災地を忘れない

地区社協では今後も義援金や物資支援などで物心両面での災害地支援活動を継続していきます。

義援金は、夢工房などで作ったクラフトテープ作品(写真)を欲しい方にお分けした時に寄付として頂いて充当します。



被災地支援クラフトテープ作品
「ふくろうランドセル」

また物資は、災害発生時緊急支援用として備蓄する物資の寄付をお願いします。

タオルや石鹸、マスク、軍手などを、地区センター玄関入って正面の地区社協掲示板下のダンボール箱に入れていただくとありがたいです。タオルや軍手は使用品でもきれいに洗濯してあれば一枚一雙からでも良いです。



新地区社協会長挨拶

愛鷹地区社協では各自治会での小地域見守りネットワーク活動の充実を進めてきましたが、高齢化率の高まり(四人に一人)とともに高齢者世帯が増え孤立死や認知症などによる問題行動等が増加しています。

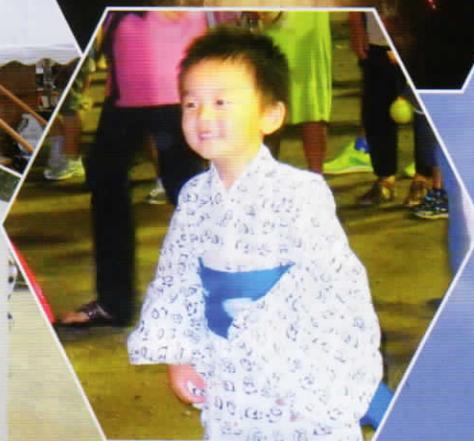
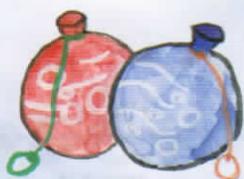
地震や噴火の話が頻繁に聞かれます。「支えが必要な人たち」への災害時支援を愛鷹地区全体や単位自治会としてどう対応するか、これが早急に取り組まなければならない課題です。

地区社協ではこの課題において、連合自治会や民生委員、コミュニティ各団体のご支援、ご協力を戴きながら、子供からお年寄りまで安心して楽しい生活ができるそんな「町づくり」を、地域のみならずと課題を共有し真摯に活動していきたいと思っております。

昨年度まで地区社協の会長は連合自治会長が兼任していましたが、本年度より中東の大嶽仁さんが専任の会長として就任しました。

台風11号の余波を受け、いちにち遅れの開催ですが、愛鷹の笑顔がコミュニティ広場に集まって、子ども達の声で売店も賑やかです。大会会長の「行くぞー！」に呼応する「オー!!」の聲がまつりを盛り上げ、わくわくドキドキの始まりです。

サクソフオン五重奏の軽快な演奏、愛鷹太鼓の力強いバチさばき、



5回



内涼まつり

9日 (日)



賛金へのご協力
ありがとうございました
まつり実行委員会

降り始めた雨の中、広がる盆踊りの輪、春風火舞が勇壮に舞い踊ります。
 夜空を華麗に彩る打ち上げ花火で、まつりは最高潮!!
 来年も再来年も、また集まりましょう。みんなで!! (久保田)



優しさを
 心丸ごと
 あしたかに

第3

あしたか祭

7月19



募金、協賛
 ありがとう
 おき

あしたかSPORTS

青野・柳沢チームが2連覇!!

子供会ドッジボール大会 7月12日(日)

11月21日(土)に行われる沼子連の中央大会に愛鷹代表として出場します。

選手の皆さん、校区大会の勢いで頑張ってください。



父親ソフトボール沼津地区大会

7月12・19日(日)

昨年は地区予選で準優勝に輝き、県大会への出場を果たしました。今年は新メンバーも加わりパワーアップして臨み、目標は県大会での勝利!

連日の雨で練習ができない日もありましたが、選手たちは勝利への期待を胸に全力で挑みました。



一回戦、二回戦では、数多くのヒットや合わせて7本のホームランなどの猛攻撃!二試合ともコールドゲームで勝利し、19日の準決勝へ駒を進めました。

準決勝では初回に先制、いいスタートをきりましたが、相手に流れを掴まれ逆転されてしまいました。それでも諦めず粘りを見せて反撃しましたが、善戦虚しくゲーム終了。「いい勉強になった」と、すでに来年に向け気持ちを切り替えているかの様でした。

来年もまた父親ソフトの熱い夏に期待したいと思います。

(小磯)

第25回愛鷹地区

レクスポ大会 5月17日(日)

〈午前の部〉 キンボール

「オムニキン・ピンク!」

体育館に響く選手の声と審判の笛やジャッジの声。

大きなボールを追いかけ、熱戦が繰り広げられました。

(優勝) 芝原町 (準優勝) 松見台

(3位) 東原ニュータウン

※上位3チームは10月11日(日)のぬまづ健康スポーツ祭に出場が決まりました



キンボール
優勝の芝原町

〈午後の部〉

ファミリーバドミントン

午前中から続けて参加した選手は、疲れを感じさせない動きをみせてゲームを楽しんでいました。

優勝 (A) 原校区 (B) 小屋敷 (C) 東原

※原、第五校区から各1チーム参加。

指導と審判はAFB*に協力いただきました

(石井)

ファミリーバドミントンでリフレッシュ!!



「地域の皆さんに、知ってもらいたい。楽しんでもらいたい」と愛鷹校区のスポーツ推進委員がAFB*の協力を得て、愛鷹小学校体育館で4月からファミリーバドミントン教室を行っています。

〈ファミリーバドミントンって、どんなスポーツ?〉

コートに3人入り、2回以内で相手にシャトルを返します。

大きなスポンジに羽根が付いているシャトルを短いラケットで打つのでスピードが抑えられ、初めての人でもラリーが続きやすい楽しいスポーツです。



小学生も楽しんでます

用具は貸し出してくれますので、運動の出来る服装で体育館シューズを持参して下さい。日頃の運動不足解消に。老若男女、家族やお友達と参加してみたいかがでしょう。

☆今後の日程☆

8月21日(金)、9月3日(木)、18日(金)

10月2日(金)、15日(木)、

11月6日(金)、19日(木)、

2月5日(金)、3月17日(木)

*AFB(愛鷹ファミリーバドミントン)

☆参加者のつぶやき☆

運動音痴、バドミントン初心者にも感激の

ラリー。気持ちの良い汗は冷や汗?

お腹の贅肉、取れるかなあ。(笑)

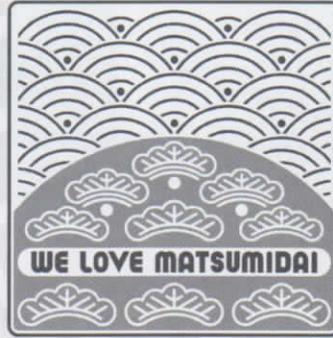
ご存知でしたか わが街 松見台

今からおおよそ半世紀前の事です。東京オリンピックが開かれ、同時に東海道新幹線が開通しました。

その数年前、沼津市は愛鷹地区内に宅地の分譲地・愛鷹団地を開発しました。愛鷹団地は市が初めて開発した住宅用の分譲地で、根方街道の北側の東西稚路に跨る茶畑を宅地化したものです。その位置は現在の「沼信愛鷹支店」から北に向かって「あしたかホーム(当初は職業訓練所)」との間です。

当時、土地を求める者にとって、愛鷹団地は魅力のある分譲地だったのでしよう。応募者多数のために抽選が行われました。二年以内に家を建てる条件があったので、団地内は建設ラッシュです。次々と家が立ち並び、いよいよ自治会発足の運びとなりました。自治会では町名について検討を重ねましたが、新しくこの地に移り住む多くの住民の「松の見(の)台」の想いを尊

重して「松見台」としました。愛鷹団地は緩やかな傾斜地にあり、特に南の景観では、当時は駿河湾や千本松原が一望できたのです。



松見台自治会は多くの人が愛鷹地区以外から集まった寄り合い所帯でした。当時の愛鷹地区の中では新しい形の自治会で、歴史もありません。発足当初の自治会役員の皆様は何かと苦勞が絶えなかつたと思います。お疲れ様でした。松見台(愛鷹団地)には、東・西稚路の住所が混在しているために、生活には支障はないのですが、面白い?現象がいろいろあります。例えば選挙の投票所です。

同じ町内でありながら、住所が東稚路だと春の木幼稚園、西稚路だと地区センターなのです。開発時に地名番が統合整理されていたらこのようなことは……

時の流れは早いもので、いつしか松見台にも五十年の歳月が流れました。その間には次世代を担う子ども達で賑わった時期もありました。

今、松見台では福祉の一部として「和み会」(歌とおしゃべりの会)を月2回開催しています。また、週2回、有志によるグラウンドゴルフが盛んに行われています。

松見台に限らずこの自治会も、ますます高齢化の進む中、同じような悩みを抱えていると思います。福祉の充実はもちろんですが、高齢者を含めてみんなの手で、楽しく過ごしやすい街づくりができたら良いですね。

尚、イフストは町名由来の想いを表現しました。これからも愛鷹地区内の一つの自治会として「松見台」を直しくお願い致します。(松崎)

愛鷹婦人会 奉仕活動



梅雨の晴れ間がのぞいた六月十七日(水)、愛鷹婦人は、あしたかホームの清掃奉仕活動を行いました。この活動は、婦人会が八支部になった昨年からは年一回になりましたが、それまでは毎月実施されてきました。

今回は、四支部十三名が参加し、ベッドまわり、洗面台まわりの拭き掃除を三グループに分かれて行いました。皆手際よく進み、一時間余りの活動はあっという間でした。担当の方が施設内の説明を丁寧にして下さり、社会見学を兼ねた奉仕活動になりました。高齢化が進む中、地元で密着した施設でありたいというお話を受け、私たち婦人もその一端を担うことができたいことをうれしく思います。(若崎)

掲示板

防災訓練

八月三十日(日)

※地域の訓練に
参加しましょう

第58回バレーボール大会

九月六日(日)

愛鷹小・中学校体育館

愛鷹地区敬老会

九月十三日(日)

午後1時から
ニュー
ウエルサンピア沼津

第56回愛鷹地区体育大会

十月四日(日)

午前8時から
(雨天中止)

愛鷹小グラウンド

第36回「ミニミニまつり」

十月三十一日(土)

十一月一日(日)

愛鷹地区センター
「ミニミニティ広場」

※一日目には三世代ふれあい
輪投げ大会があります

※二日目には会場に献血車
がやってきました
ご協力を!



五年生が苗取りと田植え

梅雨の晴れ間の六月十日(水)、愛鷹小五年生が苗取りと田植えを行いました。

四月に鷹の子農園でもみまきをした苗は、十センチ



くらいまで育っていました。子ども達は、初めのうちは苗がちぎれてしまうのでは、と不安そうな様子でしたが、途中から慣れ、手際よく賑やかに自分の植える苗を束にまとめていました。

午後からは田んぼの中に素足で入り、苗を植えていきました。

「まねの〇〇を踏んでいるみたい」と気持ち悪そうなおもいしましたが、泥の感触を半分楽しみながら植えているよ



うにも見えませんでした。身動きが取りにくい泥の中にボラソティアの方も入り、熱心に教える大きな声が田んぼ中に響

いていました。お尻に泥をつけた子どももいましたが、無事に植え終わり、ボラソティアの方の作ってくれた饅頭を手に、満足けに帰路につきました。

七月には田の草取りを行い、九月末には稲刈り、十一月には収穫感謝祭と、まだまだ続いていきます。

地域の方々に支えられて貴重な体験ができることに羨ましさを感じる一日となりました。

(田嶋)

白組3年ぶりに優勝

愛鷹小学校 運動会

5月30日(土)

運動場に入ると、色とりどりのてるてる坊主が出迎えてくれました。子ども達に聞くと一週間前から作っていたそうで、そのお蔭で雲ひとつない青空が広がりました。

一年生は初めての参加に緊張しながらも、「OLA!!」の曲にのって、元気に上手にダンスを



披露。その後は玉入れを行い、クラス皆で力を合わせて籠をいっぱいにしました。

五、六年生の組体操のテーマは「平和」。破壊兵器を表現した10人ピラミッド、そして平和を願う鼓動を表す一気だ

平和を表現した三重塔



ちピラミッドです。また「戦争を知らない子供たち」という歌を皆で合唱し、最後は黄色のハンカチを持って、三重



今年のスローガン

の塔で「平和」を表現しました。息の合った演技は私達に感動を与えてくれました。

紅白対抗リレーでは、各クラスから選ばれた走りのスペシャリスト達が大きな声援をうけながら運動場を駆けぬけ、大接戦を繰り広げました。

総合では白組が優勝し、今年の運動会も無事終わりました。(濱本)

平成二十七年八月号 あしたかニユース

編集委員

- 石井いづみ (編集委員長)
- 小野よし子 (副委員長)
- 江本 文子 ()
- 牧野しのぶ ()
- 久保田光子 ()
- 田嶋 孝雄 ()

- 【一班編集委員】
- 杉浦 敬子 (柳沢)
- 帯金 孝司 (小屋敷)
- 小磯 美子 (鷹根台)
- 寅澤 馨子 (春ノ木)
- 松崎 正美 (松見台)
- 濱本 育代 (小学校PTA)
- 岩崎 浩美 (婦人会)

編集後記

地域の活動をよりわかり易くお伝えしようと、皆で何度も練り直し話し合いを重ねました。

様々な行事等に参加できなかった方にも、その時の雰囲気を感じていただけたら幸いです。

(杉浦)

